

大明小学校 校長室から

2019年4月22日

No. 4

文責 校長 飯久保一男

学校支援ボランティアの輪を広げたいと思います

19日に、「学校支援ボランティア募集」のご案内を配付させていただきました。PTA総会の資料にも掲載させていただきましたが、本校の今年度のめざす学校像は「ふるさとに学び 確かな力をつける学校」です。同じくPTA総会でも、ふれさせていただきましたが、この学校像を実現させるために、学校を支援していただくボランティアの皆様の輪を広げていきたいと考えています。

学校と地域がパートナーとして連携・協働するために、学校は「地域に開かれた学校」から一步踏み出し、地域でどのような子どもを育てるのか、何をどのように実現していくのかという目標やビジョンを、地域の皆様と保護者の皆様とで共有することが大切だとされています。そして、学校と地域が一体となって子どもを育む「地域とともにある学校」への転換が強く求められるようになってきています。

WINWINの関係の学校支援ボランティア

1 子どもたちの教育の充実のために

- ・様々な知識や経験をもつ方々との活動を通し、子どもたちの学習に対する興味や関心が高まります。
- ・地域の方々とのふれあいを通して、子どもたちが地域を思う気持ちが育ちます。
- ・地域の方々の多様な活動を通して、よりきめ細かで豊かな教育活動ができます。
- ・地域の方々の協力で、教職員が学校教育活動に、より力を注ぐことができます。

2 ボランティアの方々の生涯学習のために

- ・地域の方々の知識や特技、技能を生かすことができます。
- ・活動を通して、より一層の知識や特技、技能とともに、向上心や向学心が高まります。

3 学校と地域の連携のために

- ・地域の方々との活動やふれあい、コミュニケーションを通して、子どもたちの地域への理解や愛着が深まります。
- ・地域の方々の子どもたちや教職員、学校への理解が、より深まります。



昨年度の読み聞かせボランティア

取引などのとき、両者が得をすることを「WINWINの関係」といいます。無理なく、長続きできる形で、地域の方々に学校へ来ていただき、地域とともにある学校をめざすため、この関係を築けたらと思っています。子どもたちや教職員は「来てもらってよかった」「学ぶことができた」と感じ、ボランティアに来ていただいた方は「来てよかった」「役に立ててよかった」と感じていただく関係をつくりたいと思っています。

これもPTA総会でも話しましたが、何か特別が技術や才能がなくてもいいのです。「学校に協力したいんだけど、何かすることはないけ？」という方々に応援していただければと思っています。お誘いあわせの上、学校においでいただけるようお願いしたいとともに、そういう方にお声掛けいただければ幸いです。

本校のホームページ、この紙面にも、こんなことの支援をお願いしたいという内容を掲載していきます。よろしくお願ひします。

お問い合わせは、本校教頭（内藤 ☎282-3113）までお願ひします。